

今年になってからひんぱんに歯医者に通っている。それも毎回別の歯医者さんへ…。知人に教えてもらった最初の歯医者さん二人はやや年配の先生。治療を受けた後、また歯が痛くなってきた。さて一体、次はどの歯医者に行こうか。郊外の歯医者さんはもう

け主義ではないという知人の勧めで行ったが、車で1時間以上もかかり、遠すぎる。しかも、急いでいたために車のスピード違反で罰金を請求され、結局、高くなってしまった。痛みがつのつて急を要するというのもあり、別の知人の勧めで近くの歯医者に行った。

や)で古風な建物に設けられたクリニックの応接室に、なんと、最近、現代美術の作品としては最高額になったマルク・ロスコの絵があった。やや小さめと

## 歯医者への旅

た。「昔は麻酔が効きすぎて、患者の1%がその場で倒れて亡くなった」とか、「アジア人は歯が大きいわりにはおこが小さい」とか。治療中もしゃべり

い、これは削りすぎるとなくなっちゃうとか。なんだか突然、成績が急に悪くなった子どものような気になってきた。

最後に、「心配ありませんよ。12本も歯を抜いた患者さんもいたのですから」と言う。この人、これで患者の不安がなくなるでも思っているのだろうか？そして、わたしの場合、残りの親知らず3本を抜いてからでないと、次の治療はし

ていたかないのと。うーん。ただでさえ、子どものころに歯列矯正をしたために、通常より永久歯が4本



少ないというのに、これではどんどん歯が減ってしまう。サメだったら歯がどんどん生えてくるのだが…「減っても差し歯にすればいい」とこの先生は考えているらしい。

「さあ、次の歯医者さんどうぞ！」歯医者への旅はまだ続きそう

だ。(文・福田直子)

絵・熊谷 徹)

ホームページ

<http://www.tku>

[magai.de](http://magai.de)